磐城毎日

發行所 福島縣平市南町六六（平局區內）
株式會社 磐城毎日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

御愛讀下さい

特警隊百名增員配置

突如本田警備課長來平

日本共産黨中央幹部二十四名の追放を見てから石城地區共産黨員は吉田首相の賣國的植民地政策の斷壓であるとビラを貼り出して反對の氣熱をあげてゐるなぞ石城地方民は不吉な豫感に人心は極度に動搖してゐるのに對應するため縣國警本部本田課長は七日突如來平、極祕裡に特別警備隊長と打合せをした、現在駐とん中の警備隊百名を更に增員、治安の確保と警備の万遺憾なきを期することになつた

義務教育費の確保

陳情運動始まる

平市內中小學校PTA會長は標準義務教育費の確保をする爲め全國中小學校と同調、積極的運どうを開始することになつたので各方面から署名捺印を求めてを陳情することになつた

陳情書

趣旨

國民がすべて均しく最低限度の義務教育を受けるに必要な經費を國會は標準義務教育に關する法律として單獨法の形で決定し各地方公共團体に對してこれが支出を義務づけるよう法的措置を講せられることを切望する

理由

標準義務教育に關する單獨法制定の精神はあくまで我が國普通教育の最低水準維持を目ざしたもので義務教育は之を無償としすべて國民は均しくこれをうける權利をもちまたうけさせる義務を負うことは憲法上明らかに示されたところである、したがつて標準義務教育費は他の標準行政費とは全くその性格を異にするのでこれを單獨法化することは國が制定した憲法の根本理念からみても當然である、今迄當然公費をもつて、まかなうべき學校の經常的經費の相當部分がPTAの寄附によつて捕われてゐるのが教育財政の實情である、もし義務教育費を確保する途が講ぜられなければ寄附金を廢止して折角これを稅制体けいに織り込でこの傾向は今後一層增大することになり教育に於ける自主性は阻害されることになる

小額貨幣回收

共募委員會で

去る四月一日政府は法律で國庫出納金等の端數計算法を實施して居るが小額貨幣（五十錢、十錢、五錢、一錢、五厘）は使用價値はあつても利用價値は實際に於て逐次失われて居る現狀でつまり家庭に死藏されたり或ひは粗末に取扱はれて紛失させると云つた始末なので、全國共同募金委員會では此の法律施行を機會に中小學生、其の他奉仕團体の協りよくを得て小額貨幣の回收を計つて共同募金に寄附する運動を開始することになつた、五十錢以下の小額貨幣の現在流通だかは約十三億円であり自然回收喪失等を考慮に入れても尙數億円あると推定され、集れば此の莫大なる死藏金が社會福祉の爲最大限に利用されると云ふもので平市を始め郡下各町村でも宣傳に乘り出すことになつた

社說

學徒の課外研究を喜ぶ

いづ頃發足したのか知らぬが、いわき生物同好會と云うのがある、今度赤井嶽の山ろくに昆虫の採取に出掛けることになつた、同好の志であればだれでも自由に參加出來る氣易さが氣に入つた、學生の參加を希望してゐる、そして指導部にもその道の教育者によつて網羅されてゐることは意義がある、組織の上にも自由性があつて固苦しい拘束がなく自然のまゝに同好の士で思う存分にその持前の學識と研究が出來るから生物採取の初步のものも進んで參加出來るところに特徵がある、こんな手近に學問の途があり然も經費の上に於て修學旅行や社會科研究旅行の樣に親泣せの問題は起らない、山野と云ひ生物と云ひ自然の世界に同好者が一日を過すことは健康の上からも一石何鳥かの利德があるし、自然科學にいとむ若い學徒の爲めには有意義な企てであらう

種々な會や催しは出來るが内容が空虛であつたり、經費が莫大にかゝつて寄附を募つたり、一部の者に利用されたりして最後には龍頭蛇尾に終るものが數多い、殊に新聞その他出版事業にはそれが目立つてゐる、勿論お題目はご最もであつても社會的には迷惑な結果になつてゐる、經費を最少限度に止めて最高の効果を納めるならば派手な人氣はとれなくてもよいのである、殊に學術の場合は研讃を積むにあるので地味に押し進んでゆくならば自づと報えがあろう殊に平は濱通りの教育の中心地となつてゐるので指導的好個の人材が多數ゐる、其の他趣味を同じうするかくれた同こう者も相計つてこの人々が獨り生物のみでなく教育者としての立場を生かし學園から街頭への進出に、各校生徒を集めた廣い意味の會を作つて教育會とか教育委員會と云つた政治的な面ばかりでなく各々の途を拓いて生きた教育の振興に力を入れるならば學徒の不健全な弊風も何割かは自然と矯正されてゆくであらうし、先生と學徒のつながりも親しみ深く渾然融和の樂しかつた思ひ出を將來に殘すことが出來ることにもならうし、これこそ父兄が待ち望んでゐることである

檢察審査會について

平檢察事務局長 田中武夫

この檢察審査會は檢察審査會法という法律に基いて地方裁利所の所在地とその支部のある主なところ全部で二百三個所に設けられたのでありまして、なお檢察審査會のこまかい事務をとるためそれぞれの審査會にその事務局が設けられました、そして檢察審査會はそれぞれ十一人の檢察審査員によつて出來ており、またこの檢察審査員に事故が起きた時の爲十一人の補充員が選ばれているのであります、それではこの檢察審査員達はどういう方法で選び出されるかと申しますとそれは選擧によるのでもなければ又一方的に任命されるものでもなく衆議院議員の選擧權のある皆様の中からくじによつて選び出されるのであります、この選定は毎年一月と四月、七月と十月の末日行われます、そしてその任期は六ケ月でありますが三ケ月毎に半數ずつ交替して人が變る様に仕組まれております、最近では去る一月三十日に全國一齊に第一回の檢察審査員と補充員が選び出されました、そこで次に檢察審査會はどの様に活動していくかと申しますと、不起訴處分が正當かどうかについて審査する時は、普通は告訴人、告發人又は被告者などからの審査申立によつて審査を開始しますがその外に自分で事件をとりあげて職權で審査を開始する事も出來るのビあります、さて、いよいよ審さする時の手續でありますが、檢察審さ會は問題となつた事件を不起訴にした當の檢察官に出頭を求めて、なぜ起訴しなかつたかという理由について意見を求めることも出來ますし、その事件の記錄とかその他審さに必要な資料の提出を求める事も出來ます、又證人として犯行の目擊者などを呼んでその時の事情をきく事も出來ます

又法律上の問題や醫學上の問題について判らない事がありましたら學者、辯護士醫師等それぞれその道の專門家の助言を求めることも出來るのであります、皆さんの中には法律を知らない素人の檢察審さ員か果して法律の專門家である檢察官のした仕事を審査することが出來るだらうかと御心配なさる方もあると思いますが、この様な專門的助言者を活用することによつて素人の人でもよくその任務を全うする事が出來るのであります、むしろ法律に素人である國民の健全な常識と正義觀とを檢察事務に反映させ様とするところに檢察審査會を設けた越旨があるのだとも言えるのであり

ます、そして檢[illegible]はその職務を行[illegible]は完全に獨立し[illegible]ありまして、他[illegible]國家機關でもこ[illegible]督したり、その[illegible]したりする事は[illegible]であります

さてこの様にし[illegible]結果、八人以上[illegible]つて起訴するの[illegible]るという議決を[illegible]その檢察官を監[illegible]檢事正と檢察官[illegible]進退をきめる事[illegible]察官適格しん査[illegible]の事を通知する[illegible]すその通知を受[illegible]はなるほど檢察[illegible]決が適當である[illegible]は起訴の手續を[illegible]るのでありますが[illegible]に不起訴處分が[illegible]うかというしん[illegible]申しましたが檢[illegible]その外に職權で[illegible]して檢察事務の[illegible]る意見や希望を[illegible]る事が出來る事[illegible]（おわり）

各科醫師の招聘

組合病院開業急ぐ

石城町村長會では昨六日午後二時より理事會及び組合病院運營委員會を開いた

△各地大學病院から有名醫師の推薦を受け專任或は兼任とすること、△病院創業に際しては資金補助について全面的の協力を得ること△七月一日の開院期日迄に運營委員會は全力をあげて種々準備をとゝのえること

尙綜合病院創業費總計百十六万七千二百五十七円五十錢

競輪場敷地

農地課了解

競輪場設置に就て市關場課長は縣當局と折衝中のところ農地關係は支障なく解決を見た、尙最後の施設許可に就ては九日高木市議が出發關場課長と共に仙台通産省支所に參聽申請をすることになつだ

廢堤用地で

神谷で拂下る

市內神谷中野孝一さん外六十六名は昭和七年以後夏井川の改修による廢堤敷地約二千七百坪を廢河敷地使用願により一時使用してゐたが、今度連名で其の拂下げを申請した、近く拂下げになるものと見られる、場所は神谷中神谷地內（瀨戶、十三所、十二所川原、前川原、大年天神川原、大知內鎌田小山下）で宅地、水田畑地等か含まれてゐる

校外補導强化

夏休對策總會開く

平市校外生活指導連盟では校外補導を始めて半年經過して居り兒童、生徒の狀態良好であり、今後一層强化を計り實績をあげるため自治警察、市社會課、教育課と連絡の上校外補導を學校の班別に月三回を實施することになつた、尙連盟總會は十二日午後三時よ一枚夏休の對策に其の他に就て開くことになつた

春蠶は豊作

增收二万貫豫想

郡下春蠶の收納期[illegible]良好で一万八千[illegible]昨年より一割四分[illegible]を豫想されて[illegible]製絲平工場では來[illegible]からの受入を準備[illegible]町村別收納され[illegible]は田人の二千七[illegible]野二千六百五十[illegible]渡三阪の二千四[illegible]千八百貫山田錦[illegible]他は二百貫台の[illegible]

人事ニュース

▲七日平市役所關[illegible]長、土木課渡邊技[illegible]場設置に關して出[illegible]歸廳の豫定

△皇太后陛下は[illegible]際して鈴木平市[illegible]の爲九日出張、十[illegible]軍隊長の招待會[illegible]二日歸廳の豫定

△平市矢吹公安委[illegible]米軍隊長の招待會[illegible]爲十日出仙、十[illegible]豫定

△仙台國税局牛込[illegible]は平税務署事務[illegible]爲七日來平八日退[illegible]

[illegible]

磐城　祝　毎日

發刊

石城地方事務所 箱崎利勝
平土木監督所 上村圭一
水産事務所 松井滉
平開拓建設事務所 川口修二
平戰災復興事務所 山口末吉
小名濱港務所 濱田正軌
江名港修築事務所 大關清治
平保健所 青沼淡夫
平公共職業安定所 佐藤忠雄
平勞政事務所 吉崎寛治
平病院 猪狩正雄
園藝原種農場 荒井敬助
植田土木監督所 篠田太起郎
平地區農業改良指導所 草野昇
湯本地區同 大和田武男
植田地區同 櫛田康
澤渡地區同 阿部好仲
蠶業技術指導所 野口盛吉
水産試驗場 安達新

經營難でやめたい商賣と

開店希望の煙草屋

戰争中や戰後のインフレ時代は振り向きもしない地味な煙草小賣店も世の中がせち辛くなつて來て賣れ行きは良くないし店がまいはよければ税金の對照で攻められるし宣傳費はかさむ、競争すると云つても資金が續かない、商品の仕入もどこが底やらお先眞暗では手も出ない、季節の變り目には何は兎もあれ時の流行物を仕入れにやならぬ、何の商賣でも樂でない遣りくりさんたんからでもあらう、地獄の様な商賣をさらりとやめてはあすの日に迷はされるに決つてゐる、それあるからか月給取りが此頃では羨望の的となつてゐるし、世はまさに逆さまで、例え儲けは少くとも地味は商賣で命をつなぐと云う算たんか煙小賣店の許可申請がグンと増加して來た

新しく事業を起すことはむづかしいと世間をなやましてゐるとき專賣局にはまるで反對に小賣業者のもうし込みが許可しん請がある、其のうち許可になるものは僅か百人に二人位だそうだ、果してタバコ小賣業がそんなに儲かるのかどうかはわからない、然しタバコがどのくらい市中に出てゐるか調べて見よう、先づタバコ小賣業者だが專賣局平出張所管内では四百三十人平市内では八十四人もある、それに小賣業もうし込は毎日二人位はあるそうだ、此の管内で消費されるタバコは五月の集計を見ると一ヶ月三千六百五十八万八千三百七十二円が煙になつてゐる、一番良く賣るのがゴールデンバットで一千三百六十二万千五百七十二円、總計の三分の一を占め後は新生、光、憩、朝日、ピース、ハッピーの順である、昨年の總賣上は五億七千百七十八万二千八百三十四円二十六錢となつてゐる

農繁期の休暇

父兄の聲を聞く（平二中）

農繁期の學校生徒休かに就いて平第二中學校では保護者の意見を聞えて見た結果來る十五日より三十日までの間に五日間休かをすることに決定した、本校は生徒八百六十名の中三百名が農家五百名が商業、其の他の家庭から通學されて居る、意見の解答は假休の必要二百二十二人、不必要十四人休かは何日が適當かに對しては二週間九十八人、十日八十八名、七日四十人、五日二十八人、必要なる保護者の願出には一週間休校さしてはどうか、贊成百四十六人、否九十人、最農繁期に就て二十日より三十日百四十八人十日より十五日三十名であつた

引揚者住宅

補助割當決る

石城地方事務所管下本年度海外引揚者住宅建設の縣費補助が今度各町村に割當たなつた△夏井二戸十二万六千六百円△高久二戸十二万六千六百円△小名濱四戸二十五万三千二百円△四ッ倉四戸二十五万三千二百円である、尚過去二ヶ年の縣國庫補助に依る建築完了數は二十三年二棟四戸（小名濱、四ッ倉）二十四年一棟二戸（小名濱）で本年度は四十八戸の申請に對して十二戸で誠に心細い狀態にある

緬羊の飼育

前途悲觀される

石城郡下五月末現在のめん羊飼總頭數は三千頭年一回の刈込みで一頭平均一貫二百匁の毛がとれ先年度の貫當り最高價格は六千円脊廣三ツ組一着分は樂だと云ふので一時四千頭からのめん羊が飼育されて居た、然し本年度から毛製品の統制が解除され生産者からの直接賣買が復活し競爭時代に入り貫當り二千二百円程度に下落しめん羊飼育の前途は悲感されて居る

鈴木市長出席

駐屯聯隊長招宴

仙台駐屯米歩兵第十七聯隊長ターウエー大佐は十日午後七時より仙台市郊外多賀城阯内米軍將校集會所に宮城、福島兩縣の知名人を招待してカクテルパーテーの會を催し縣內狀勢について種々懇談する、平市からは鈴木平市長、矢吹公安委員の二氏である

平工業高等學校カメラ部では六日三時よりカトリツク教會庭園に於て第一回人物撮影研究會を開いた、カメラ部三十余名は草野、梅崎氏磐城寫友會員から撮影指導を受けて閉會した

赤十字社員增募

高額寄附者資格に

平市本年度の赤十字共同募金運どうは目標額二十七万七千円に對して募金成績は十万六千七百十円と云ふ低調ぶりで係員を悲感させて居るが、此の不足分を八日から十五日迄の間に市內民生委員事務嘱託員の協力を得て各戸から寄附をあをぐことになつた、尚三十円以上の寄附者に對して市では赤十字社員として資格をしん請することになつた

綴方教室

僕の兎

平一小六ノ二　大久保愼

僕はうさぎのような小さな動物を育てるのがすきで、この間お母さんにたのんでかつてもらいました、僕のうさぎわ頭の上の方に少しうすく茶色の色がついていてとてもかわいいうさぎでした、小屋も前のとちがつて僕の手で新しく工夫してつくりましたのでいままでかつたときよりとてもうれしく思つていました、草取にいくのが少し遠いのですがうさぎのことを思うとなんでもありません、そして早く大きくなるのがたのしみでした、それにするでしたので子を生むことも待たれました、學校歸りにはT君とY君に手傳つてもらつて草をとつていくのです、僕が戸をあけて草をやると小屋の中をとびまわつて喜ぶのです、雨の日などわ物置に入れてあつたのですが、水が入いらないかと夜などはねむれませんでした、又金網なのでねこなどにやられないかと思い、むしろをかぶせたりしてげん重にしておきました、ところがある日のことでした、僕が學校から歸つてしまわないで遊んで歸つてみるとうすぐらくなりかたうさぎ小屋にはうさぎがみえません、僕はびつくりしてそこら中をさがしまわりましたがみあたりません、僕はがつかりして二、三日口もききたくありませんでした、きつと戸があいていたのでぬすまれたのでしよう、それでなければねこなどに取られたのかわかりません、すぐに友達にそのことを話すと友達は朝みていたので本氣にしませんでした、學校歸つてから樂しみもなくなり今ではつまらない日を送つています

わかば

平一小四ノ二　早坂元久

五月ごろからわかばで野や山は一面そまつている、ぼくはこのわかばをみればいつでも勉強ができるぼくはこのわかばとは一生はなれたくないほどわかばが大すきだ。野山はみどり空はまつさおわかばと空の色はよくにあつてむねがすくように氣持がいい、ぼくはこのわかばをきつたりおつたりする人の氣持がわからないぼくは野原にいつてとつてきた小さな花のめでもみつけたらそれをとつてうえきにうえてかわいがつてやる天氣のいい朝教室からみるとわかばが朝の光をあびてきれいに光つています。おひるごろ運動してとてもあつくてたまらなくなつて教室にかえつてちよつと窓のそとをみると、青々としたみどりが窓のそと一面ゆらゆられていままでのあつさもわすれるほどすずしいような氣持がします。おそうじがはじまるときはまたわかばをみて運動ぼうをかぶつてしつかりおそうじをします。ほんとうにわかばはぼくたちの友だちです。明るいきぼうと、元氣をださせてくれますみどりみどりぼくは大すきだ

石けん統制

近く撤廢？

石けんの生産は原料油の輸入が非常に順調なため軌道にのつて居り其の上放出石けん規格外石けんなどが出廻り統制のアミの目を潜つて作られたヤミ石けんが、割合豊富な良質の配給石けんに次第に放逐され從來行つてきた石けんの配給統制を存續していく事は結果からみて良策とも思えないので通産省では八月の最需要期を控えて大体七月上旬頃安本と交渉の上石けんの配給統制を廢する意向である現在石けんの配給値とヤミ値の間にはさして懸隔もなく配給統制を廢して自由競爭にすれば良質こう價な藥用石けんが出廻る反面洗濯石けんは大分安くなるだらうとみられている

權大會十一日

ジュニア級選手

來る十一日十一時半より平市公會堂に於いて縣下第一回ジュニア級選手權大會を行ふ、當日は日本重量擧理事長井口幸男氏、國体ライト級第一位鑵田登氏が來平し模範演技を行ふ外、新人者若木竹丸氏の指導や寢差世界記錄保持縣選手權保持者四名の模範演技等もある

陸上東北大會

出場（豫）選手決る

陸上競技東北大會縣豫選並びに五地區對抗競技會は來る十一日九時より福島市綜合グランドで行ふ、郡下より出場する選手は左の通り

△男子一般　太田德重、佐藤忠雄、佐藤留三、高橋清幸、佐藤猛、中村正夫、江尻弘、櫻林一夫、大平昌二、高萩定雄、小形清美、大場辰夫、杉山秀雄（常磐）高崎剛、鈴木守、永嶺丈夫、山家博孝、石橋渡、阿部計、白土丑之輔、西郡良治（平ＡＣ）中村哲夫、須磨利春（日素）小松博信、小林（古河）佐藤稔

△女子一般　三瓶陽子（平ＡＣ）

△男子高校　木村晋一、東海林善作、佐藤孝、古川洋一、白川長和、會田泉俊、野崎秀雄、戸村昭夫、遠藤清之助、小林淳、平田良之、鈴木成元、松本恒男（磐高）遠藤和夫、古口八郎、石井大藏、上遠野高司（小名濱高）草野義男、矢内清光、大河原照夫、比佐進、鈴木秀次（平商）仲井正盛、瀧登、渡邊清、石井良夫（平工）鯨岡孝至（四倉高）

△女子高校　鵜沼サク子、佐藤巳子、西丸洋子、大河原令子、永山えい子、佐野千代子、横堀スサ、押田久子、藁谷トク、佐々木公子（磐女）松原トヨ、澤田花枝（小名濱）

△リレー　磐城チーム、常磐チーム、磐高チーム、小名濱高チーム、磐女チーム、小名濱女

箱崎、鈴木さんを招く

郷土人の歡談會

昨七日午後一時高久村々會議員、役場員、學校長等全員は同村出身の平市長鈴木辰三郎、石城地方事務所長箱崎利勝の郷土出身二氏を旅舘鈴木亭に招き兩氏をねぎらう會を催し、主客の差もなく和氣あいあいな初夏の清宴であつた

石齢配給

平市では第七回家庭用石齢の配給する、△期間十日より十四日迄市內一般家庭、一人當り三個、小一個十四円七十錢、大一個二十一円四十錢

横領男捕る

情婦と逃げた

住所不定鈴木光雄（四二）は石城郡上遠野村大字根岸農廣田文夫さん所有の山林五反歩を買受けたと稱し他に賣買三万五千円の契約金を取り發覺を恐れ情婦と逃亡中植田地區署の手配により新潟縣小千谷町署員に捕まり護送され昨七日午後身柄共

平地檢へ

懲役判決

昨年四月上旬頃石城郡赤井村大字赤井字田中四農業新妻喜代治方鷄舍から白色レグホン十羽を搔拂つた年のを始めとして翌五月中に衣類三十六点外現金一万一千八百五十円を盜んだ石城郡豊間町大字豊間字兎渡路田中光男方加藤一平（三五）にかかる公判は六日平簡裁で懲役十ヶ月の判決があつた

工事場物置盜難

六日夜市內新川改修工事場物置小屋のカギが何物かに破られスコップ五、トウグワ、地下足袋その他が盜まれた

共産黨第二次追放

（七日渉外局發表）マ元師は七日午後吉田首相宛書簡を送り六日追放處分にした日本共産黨中央委員二十四名に引續き左の十七名の公職追放を指令した、尚同黨機關紙アカハタ編集長に對しても同樣處分にするよう指令した、第二次追放者氏名

相川春喜、青山敏夫、川村たつお、聽なみ克已の各代議士

宮本太郎、守尾典郎、西澤富夫、岡本正、坂野善郎、島田幸一、吹田秀二高橋勝之、武井武夫、竹本賢三、内野壯兒、姉齒三郎、菅間正朔

平税務署
署長　小貫數馬
總務課長　五十嵐甚三
直税課長　曾根一元
間税課長　湯田正雄
七月は所得税の予定申告期です

平郵便局
局長　小倉利一
外職員一同

日本專賣公社
平出張所長　本多貢
收納課長　先崎清一郎
庶務課長　高羽孝雄
鹽務課長　丹野文雄
監視課長　影山忠喜
たばこ販賣課長　猪狩秀雄
收納技術課長　郡司松吉
製鹽課長　村上榮